

地域密着型金融の取組み状況

平成 21 年度

TRI*bank* MiuraFujisawa

三 浦 藤 沢 信 用 金 庫

地域密着型金融推進計画につきまして、
平成 21 年度の取組み状況を地域の皆さまにご報告いたします。

平成 22 年 7 月

- 地域密着型金融に係る主要計数等の実績
- 地域密着型金融推進計画の進捗状況一覧
- 経営改善支援の取組み実績

地域密着型金融推進計画の進捗状況一覧

約束 1. お客様の「がんばる」を応援します

項目名	主な取り組み内容	平成 21 年度の実績
創業・新事業支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 創業・新事業支援のための融資に更に積極的に取り組みます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・創業もしくは新事業に取り組むお客様に対して、37 件、404 百万円の融資を実行しました。
企業の成長・発展	<ul style="list-style-type: none"> ○ 経営分析や経営に関する情報をホームページに掲載していきます。 ○ 新しい融資商品の開発や、既存融資商品の見直しを行います。 ○ ビジネスマッチングのための仕組みを紹介します。 ○ お客様の事業や商品の情報を広く紹介するためのツールを作成します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当金庫のホームページに「経営に役立つ各種書式集」コーナーを新設し、「資金繰り表ひな型および記載例」「経営改善計画書ひな型および記載例」を記載し、取引先企業の経営改善計画書の策定に活用しました。 ・(財) 神奈川産業振興センターが発行する「中小企業サポートかながわ」を毎月営業店へ送付し、「受・発注商談会」案内等についてお客様への情報提供として活用するよう通知を行いました。実績はありませんでしたが、情報提供の体制は構築されつつあります。 ・信金中央金庫と連携し、個別商談会の開催に向けて検討を行っています。 ・当金庫お取引先の経営者の方々により組織されている「みうら会」の交流会を定期的に開催し会員相互の交流を図りました。
経営支援・事業再生	<ul style="list-style-type: none"> ○ 経営改善へのアドバイスや情報提供を通じ、継続的な支援を行います。 ○ 中小企業支援協議会や新しい再生手法を活用し、事業再生計画書の策定に協力します。 ○ 中小企業診断士会との連携により、経営診断サービスの内容を拡充します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本部の企業支援グループが営業店担当者に協力してお客様に対する経営改善支援を行い、ノウハウを担当者に対してマンツーマンで指導しました。また、経営改善支援活動を行っていない職員に対して営業店にて経営改善支援活動報告を行い、経営改善支援に係る業務の重要性を全店的に浸透させました。 ・定期的に開催している再生支援事例報告会や経営改善支援研修会等において信金中央金庫総合研究所や神奈川県中小企業再生支援協議会より講師を招き経営改善計画書作成や事業再生計画策定案件についての事例報告等を通して職員の能力向上を図りました。 ・お取引先企業 6 先の事業再生について、神奈川県中小企業再生支援協議会と検討を行い、事業再生計画策定先 2 先、策定中先 1 先、相談仲介機能による支援メニュー紹介先 1 先についての取組みを進めています。 ・当金庫が定期的に開催している経営改善支援活動報告会および融資担当者会議において、神奈川県中小企業再生支援協議会による事業再生計画策定案件についての事例報告および再生手法についての情報共有化を図りました。 ・横浜コンサルティングファームの担当者が当金庫営業店にて営業店担当者と取引

		<p>先企業の経営改善支援について意見交換等を行い、38件の相談案件が寄せられました。その結果、お取引先企業への経営改善に係る助言・情報提供を行うことができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横浜中小企業診断士会の担当者と当庫営業店担当者における意見交換会を行い、同会利用の浸透を図りました。その結果、お取引先企業2先の経営診断について同診断士会と協議しました。 ・同診断士会の簡易診断メニューを拡充し、ライフサイクルに対応する経営コンサルメニューを作成いたしました。 ・信金キャピタル(株)のM&A案件情報を毎月営業店に通知し、需要があると思われるお取引先へ個別に打診しました。実績はありませんでしたが、仕組みは構築されています。
--	--	--

約束 2. お客様の「利便性」を追求します

項目名	主な取組み内容	平成 21 年度実績
インターネットバンキングの機能強化	○ カードローンの返済機能付与など、システム拡充を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・個人のお客様向けインターネットバンキングについて「ワンタイムパスワード認証方式」を導入し、お客様のパスワード管理に係るセキュリティ強化を図りました。
資産運用商品のラインアップの充実	○ 個人向け国債のほか、保険商品など、資産運用商品の充実を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・個人向け国債の募集を年間4回にわたり行い、1,368件、3,866百万円のご契約をいただきました。 ・神奈川県ミニ公募債の募集を年間2回にわたり行い、11件、40百万円のご契約をいただきました。 ・第三分野保険として、がん保険、医療保険および標準傷害保険の取扱いを開始しました。
年代別の商品の提供	○ 若年層、中高年層、シルバー層など、様々な年代のお客様に満足いただける商品の開発と提供を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・退職金の預入れおよび年金受給指定口座契約の予約を条件とした金利優遇定期預金「年金予約定期預金」の取扱いを行い、実績は162件、1,079百万円となりました。 ・平成21年10月に藤沢市が開始した「地域ぐるみ子育て応援団事業」を受けて、基準を満たした子育て世代の顧客に対して、教育ローン、リフォームローンおよびマイカーローンの貸出金利を優遇する制度を創設しました。

相談機能の拡充	○ 専門家による無料税務相談や法律相談を開催します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 休日や営業時間外においても各種相談を受けるための「よろず相談」窓口をお客様相談室に設置し、金融関連の相談のほか、相続、年金等についても受け付けた。平成 21 年度の相談件数は 1,462 件となりました。 ・ 毎月第 1 水曜日の午前 10 時から午後 4 時まで、東京地方税理士会所属の税理士による無料税理士相談を実施し、お客さまの様々な相談に対応しました。平成 21 年度の相談件数は 31 件でした。
---------	----------------------------	--

約束 3. 地域の「豊かさ」をサポートします

項目名	主な取組み内容	平成 21 年度実績
文化・スポーツ支援活動	○ 市民コーラスの実施や薪能の後援、野球大会をはじめとする各種スポーツ大会の後援を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 下記のとおり地域の文化振興の支援を行ないました。 横須賀市で「市民コーラスと歌手のつどい」を開催しました。 藤沢市で遊行寺薪能の開催を後援しました。 ・ 下記のとおり地域のスポーツ活動の支援を行いました。 横須賀・三浦・藤沢地区でゲートボール大会を開催しました。 藤沢地区で少年野球大会を開催しました。 横須賀地区で少年少女バスケットボール大会を開催しました。
多重債務者への対応	○ 多重債務者の事例集をホームページ等で公開します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「多重債務者相談強化キャンペーン」のポスターを掲示しました。 ・ 「多重債務者相談窓口用リーフレット」を営業店に備え置きました。 ・ 多重債務にならないための情報提供および外部機関への紹介を適宜実施しました。 ・ 改正貸金業法の完全施行を踏まえ、多重債務者に対応するための新商品等の投入を検討いたしました。
金融教育の実践	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地元の中中学生・高校生の職業体験学習の受入れを行います。 ○ 小中学校への出前授業を通じて、お金の大切さや働くことについて学ぶ機会の提供に取り組みます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 下記のとおり出張授業を実施いたしました。 横浜市内小学校 2 校において 3 回にわたり実施いたしました。 ・ 横浜市内の老人会において、振り込め詐欺の被害に遭わないための方策について講習を実施いたしました。
情報の開示	○ CSR の各種取組みについて、ホームページやディスクロージャー誌を通じて開示を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 21 年 7 月発行のディスクロージャー誌に、CSR の各種取組みについて開示しました。 ・ 平成 21 年 10 月リニューアルのホームページに、CSR の各種取組みについて開示しました。

地域密着型金融に係る主要計数等の実績

項目	目標	実績
創業・新事業支援融資	金額 800 百万円	金額 404 百万円
経営改善支援取組先	80 先	85 先 (正常先 9 先を含む)
経営改善支援取組み率 $\frac{\text{経営改善支援取組み先数(正常先を除く)}}{\text{期初債務者数(正常先を除く)}}$		5.4%
再生計画策定先	50 先	55 先 (正常先 5 先を含む)
再生計画策定率 $\frac{\text{再生計画策定先数(正常先を除く)}}{\text{経営改善支援取組み先数(正常先を除く)}}$		65.8%
ランクアップ先	8 先	3 先
ランクアップ率 $\frac{\text{ランクアップ先数(正常先を除く)}}{\text{経営改善支援取組み先数(正常先を除く)}}$		3.9%
個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資の取組み実績	金額 600 百万円	金額 35 百万円

(注1) 再生計画策定先は、当金庫独自の再生計画の策定先を含んでいます。

(注2) ランクアップとは、当期末の債務者区分が期初より上位遷移することをいいます。

(注3) 個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資の取組み実績は、「売掛債権担保融資」「動産担保融資」の分です。

経営改善支援の取組み実績【平成21年4月～平成22年3月】

(単位:先数)

(単位:%)

	期初債務者数 A	うち 経営改善支援取組み先数 α	αのうち期末に債務者区分がランクアップした先数			経営改善支援 取組み率 α/A	ランクアップ率 β/α	再生計画 策定率 δ/α	
			β	γ	δ				
正常先 ①	6,958	9		4	5	0.1%		55.6%	
要注意先	うちその他 要注意先 ②	1,047	62	1	59	40	5.9%	1.6%	64.5%
	うち 要管理先 ③	24	3	1	2	3	12.5%	33.3%	100.0%
破綻懸念先 ④	187	11	1	10	7	5.9%	9.1%	63.6%	
実質破綻先 ⑤	122	0	0	0	0	0.0%	—	—	
破綻先 ⑥	20	0	0	0	0	0.0%	—	—	
小計 (②～⑥の計)	1,400	76	3	71	50	5.4%	3.9%	65.8%	
合計	8,358	85	3	75	55	1.0%	3.5%	64.7%	

- (注)
- ・期初債務者数及び債務者区分は、平成21年4月当初時点で整理しています。
 - ・債務者数および経営改善支援取組み先は、取引先企業(個人事業主を含む。)であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含みません。
 - ・βには、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載しています。
なお、経営改善支援取組み先で期中に完済した債務者はαに含めるもののβに含みません。
 - ・期初の債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその他要注意先」にランクアップした場合はβに含みます。
 - ・期初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取組み先」に選定した債務者については(仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても)期初の債務者区分に従って整理しています。
 - ・期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含みません。
 - ・γには、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載しています。
 - ・みなし正常先については正常先の債務者数に計上しています。
 - ・「再生計画を策定した先数δ」＝「中小企業再生支援協議会の再生計画策定先」＋「RCCの支援決定先」＋「金融機関独自の再生計画策定先」